

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		閉じこもり予防事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加				所属課	高齢者支援課	担当者名	佐藤里佳
	基本事業	49	高齢者の介護予防の充実				所属班	高齢者保険班	(内線)	2114
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市生きがい活動支援通所事業実施要綱		
		30	11	1	2	11367		成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 -		
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	家に閉じこもりがちな概ね65歳以上の高齢者に対し、通所の方法により、日常動作訓練等のサービスを提供し、自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の向上を図る。みどり館で生活指導、日常動作訓練、健康チェック、給食サービス等を行う。 平成12年介護保険制度が始まり、介護認定非該当の高齢者がデイサービスを受けられなくなったことにより開始した。閉じこもりや社会的孤独感をもつ高齢者へ対象者を変えてきた。 特定高齢者と思われる方も約半数程度は含まれており、国が定める通所型介護予防事業である運動・栄養・口腔の機能向上事業を新たに追加することにより、更なる介護予防効果を高めることができ、また、地域支援事業交付金の交付対象となるサービス利用申請書を提出し、実態調査を行い地域ケア会議において審査し、利用の可否を決定する。事業は社会福祉協議会に委託。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	利用者からは、生きがいデイサービスに行くことを楽しみにしている。また、新しく知り合いが増えたと喜ばれている。平成19年度から個人負担額を要支援1の負担額と同等にしたが、特に利用者からの問い合わせはなかった。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
20年度までは2箇所で行っていたが、21年度より1箇所で行い、入浴サービスを事業内容からはずした。	
④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位) 回
→ ア デイサービスの開催数	イ デイサービスの延べ参加者数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人
家に閉じこもりがちな概ね65歳以上の高齢者	→ ア 要介護認定を受けていない高齢者
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 人
自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。	→ ア デイサービス参加者数
* ⑥ 成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費 の推移				単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回			430	426	430	431	430	430	430
	イ	人			1545	3338	1545	2508	1545	1545	1545
⑤ 対象指標	ア	人			8842	8465	8600	8554	8725	8800	8800
	イ										
⑥ 成果指標	ア	人			132	94	80	85	80	80	80
	イ										
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			3,019	2,069	2,179	2,179	2,179
			都道府県支出金	千円			1,510	1,035	1,090	1,090	1,090
			地方債	千円							
			その他	千円			6,039	4,139	4,358	4,385	4,385
			繰入金	千円	14,722	11,009	1,510	1,034	1,090	1,090	1,090
			一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	14,722	11,009	12,078	8,277	8,717	8,744	8,744		
	(A)のうち指定経費	千円									
	(A)のうち時間外、特勤	千円									
	人件費		正規職員従事人数	人	4	4	4	3	3	3	3
延べ業務時間			時間	155	244	155	224	224	224	224	
(B)人件費計			千円	615	976	617	892	892	892	892	
トータルコスト(A)+(B)				千円	15,337	11,985	12,695	9,169	9,609	9,636	

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0
0
0

合志市

事務事業名	閉じこもり予防事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☐ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 事業の内容を充実することによって、成果の向上余地はあると思われる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がないため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 介護保険制度に準じて一部負担金を徴収しているため。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 利用の決定等以外は社会福祉協議会に事業を委託しており削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ケア会議で決定の可否を審査しており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						